

在宅保健師の会 おおさか

CONTENTS

会長あいさつ	1
令和2年度事業報告について	2
新会員のご紹介	3
活動紹介コーナー	4
新旧役員からのご挨拶	5
令和2年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会の報告 ...	5
INFORMATION	6

会長あいさつ



謹んで初春のお慶びを申し上げます。
皆様方には平素から会の活動にご支援、ご
協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年は、コロナ禍で全国的に会の活動は
事業の縮小や中止といった状況が続き、当
会も総会・研修会の中止、夏の会報の休刊という事態になりま
した。「都道府県在宅保健師等会全国連絡会」も従来のように
一堂に会することが困難なため、リモートでの役員会で研修内
容等を検討し、DVDにして配付する開催方法となりました。

コロナ禍で受診控えによる病状悪化、閉じこもりによるフレ
イルや認知機能の低下、自殺者の増加など、地域では様々な問
題が生じています。また大規模災害が発生した場合の避難所に
おけるコロナ対策、避難者の健康管理、感染症対策を含む健康

大阪府在宅保健師の会 会長 池畑 久美

相談等の専門職として保健師への期待が大きくなっています。

新型コロナウィルスの第5波では保健所業務負担が増大し、
特に大都市では疫学調査・健康観察業務の逼迫が課題となりま
した。厚労省は感染症等に係る対応人材IHEAT（アイヒート）
を登録者名簿の一括管理のもと、保健所が支援を希望する業務
への派遣調整を迅速に行えるように、支援協力者の派遣調整機
能と研修管理機能を搭載したシステムの本格運用を開始しまし
た。本格稼働したシステムは保健所の人材確保、体制強化の試
金石になると期待されています。

コロナ禍で生じてきた多岐にわたる健康課題を認識し、本年
も公衆衛生の専門職として更なる活動ができるよう研鑽に努め
てまいりますので、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上
げます。

4月に総会を開催予定としておりましたが、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止し、総会議案を会員のみなさまに送付しました。令和2年度は下表のとおり事業を実施しましたが、同感染症拡大の影響を受けた中止が目立っています。

今までの社会生活が大きく変わってきた中で、多くの会員のみなさまにご協力いただき事業運営することができたことに感謝申し上げます。



受診(受療)勸奨風景

令和2年度事業報告

総 会	令和2年4月24日	【認定事項】 1 令和元年度大阪府在宅保健師の会事業報告（案）について 【議決事項】 1 令和2年度大阪府在宅保健師の会事業計画（案）について （その他）	開催中止 (新型コロナウイルス感染症拡大のため)
	令和2年4月24日 記念講演会	「高齢化社会における地域の健康づくりの取り組み」 ～高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施に向けた最新情報と保健師への期待～ 東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 北村 明彦	開催中止 (同上)
研 修 会 等	令和2年7月14日 第1回研修会	「フレイル予防と効果的な介入について」 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 研究部長 宮地 元彦	参加者 67名 (内会員 34名)
	令和2年12月14日 第2回研修会	「行動変容につながる保健指導」 ～説明力を磨き、効果的な保健指導とは～ 独立行政法人国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター予防医学研究室 室長 坂根 直樹	開催中止 (同上)
事 業 協 力	特定健診未受診者 対策事業	実施保険者 8 保険者 和泉市、忠岡町 大阪文化芸能国民健康保険組合、大阪府浴場国民健康保険組合、 大阪府薬剤師国民健康保険組合、大阪木津卸売市場国民健康保険組合 大阪衣料品小売国民健康保険組合、大阪建設国民健康保険組合	協力者 延べ85名
	特定健診受診者の フォローアップ事業	実施保険者 4 保険者 岸和田市、泉佐野市、四條畷市 大阪府浴場国民健康保険組合	協力者 延べ50名
	重複服薬者への 健康相談事業	実施保険者 9 保険者 大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、茨木市、羽曳野市、泉南市 熊取町、岬町	協力者 延べ26名
	特定健診受診勸奨 (健康相談)等支援事業	実施保険者 3 保険者 和泉市、熊取町、太子町	協力者 延べ24名

- 役員会5回
- 会報第43号・第44号発行
- 令和2年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員会への出席（池畑 久美）
- 令和2年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会の動画視聴（大阪府在宅保健師の会役員）
- 大阪府介護保険審査会委員（飯沼 恵子、森長 康子）

新 会 員 の ご 紹 介

令和2年5月から令和3年5月までの間に、新たに8名の方を会員にお迎えしました。新会員の皆様から入会動機や会に期待すること等を投稿していただきましたので、お名前の50音順にご紹介します。

東 朱美 さん（岸和田市）

月2回ボランティアに行っている施設のロビーで「在宅保健師の会」のパンフを見つけました。まるで待ち人にやっと会った時のように、うれしさ、懐かしさでいっぱいになり、パンフを持ち帰りました。

実は20年程前、一度入会していました。脱会届を出さぬまま、市町村の嘱託保健師、クリニック看護師を経て、一昨年末仕事を離れました。

再度入会できたのも、思いもよらぬ巡りあわせから。刺激をいただき、皆様との交流を楽しみにしています。よろしくお願いします。

荒崎 雅子 さん（堺市）

コロナ禍の中、学んだ感染症対策と違い「ウイズコロナ」などありえない。

PCR検査で早期発見し隔離保護して行かなければおさえられないのに。当初よりおかしな方向、検査無用論、当初4日間発熱なければ受診できない。保健所も減らされている中、対応できず疲弊し、今では第5波で医療崩壊、在宅死増、ワクチン一辺倒等では未だ出口見えず。

何か保健師として役立つことはできないかとの思いで入会しましたが要綱は違いました。大変でしょうが、国保の方もコロナの患者さんがおられると思いますのでコロナ終結まで何か役立つことはできないのかなと思います。

今野 富士子 さん（生駒市）

退職後も社会とのつながりを持ち続けたくて入会いたしました。保健師として活躍の場を提供してくれることを期待しています。先輩の保健師の仕事ぶりに触発され、パワーをもらっています。新たな学びやつながりに出会えてリフレッシュしていく気がします。日々、研鑽を積みながら活動の幅を広げたいと思います。よろしくお願いいたします。

高井 小百合 さん（堺市）

昨年大阪府のコロナの事業の一つの部門で働かせていただきました。今まで潜在保健師であり、全く経験がない状態で右も左もわからないまま働いていました。

その中、在宅保健師の会から沢山の経験と素敵で優しい保健師の先輩の皆様が応援に来てくださりました。保健師としての人への接し方や、保健師とは何かを教えてください

ました。そして、在宅保健師の会への入会のお誘いのお声をかけていただきました。

何もお役に立てないと思いましたが、「ベテランの保健師が助けてくれるから大丈夫。」と言ってくださいました。

こんな私ですが、少しでも力になれるなら、また保健師の先輩方から沢山学びたく入会させていただきました。どうぞ宜しくお願いします。

中野 明美 さん（豊中市）

夫の転勤で埼玉から大阪に来て6年になります。以前は、埼玉の包括支援センターで勤務していました。地域作りは積み重ねて関係を築くことが大切です。種を蒔けば芽が出るように、住民の思いの種を蒔き、育つように支援する大切な仕事です。今、子育て中ですが、いつか保健師の育成の仕事に関わりたいと思い、日々過ごしています。

前田 美千代 さん（貝塚市）

先輩からご案内いただき入会いたしました。

健康は宝物だと思っています。その健康に携われるお仕事をさせていただいていることを嬉しく思っています。

また、ご経験豊かな先輩方との交流もさせていただけることも、本当に嬉しく思っています。

皆さま、よろしくお願いします。

南 美佐 さん（交野市）

これまで非常勤保健師として特定保健指導等に関わってきました。これらの経験を活かせたらと思い、入会しました。研修会や経験豊富な先輩方との交流を通して、刺激を受けながら、自身も成長していけたらと思います。よろしくお願いいたします。

守田 麻衣 さん（大阪市）

「保健師としての知見を広げたい」そう思っていた私は、保健師として活躍できる場所があれば積極的に参加してきました。そんな中で出会った先輩方に誘っていただいたのが、在宅保健師の会です。尊敬する先輩方と一緒に保健師活動ができるかも・・・私にとってはそれだけで十分な入会動機となりました。この会を通じて、より多くの出会いや経験ができることに期待しています。毎号の会報も楽しみです（^^）

活動紹介コーナー

会員の様々な場での活動をご紹介します。今回はインタビュー形式でのご紹介です。

インタビューアー 清水 幹事

「こども食堂」の取組みについて

織田 律さん

織田さんは、6年前から月1回「こども食堂」をしてきたそうです。

活動のきっかけは、地域の子供たちに何かできることはないかという思いから。

開催にあたって、様々なハードルを越えるために、共通の思いを持つ仲間を見つけることからはじめたそうです。たった一人の微力な力も、その力が集まれば何かできる。自分一人ではできないことも、話し合えばできる。保健師活動では見えてなかったことが、仲間との出会い

から見えました。コロナ禍の中、あいにく、食堂は休職中です。再開にあたって、「子供たちがどう参加したいか」の視点も忘れず、新たな活動のあり方を考えねばと、熱く語ってくれました。



「音楽サロン」の活動について

瀬戸 節子さん

瀬戸さんは、4年前から、音楽サロン活動を始めたそうです。

活動のきっかけは、故郷の琵琶湖に育つ「葦」を材料にした20グラムの笛との出会いから。音楽が、人と人をつなぎ、心を和やかに幸せにする。音楽をとおして、介護予防や健康づくり、琵琶湖の環境保全に役立てればと、仲間^{よし}に声をかけ地域や施設で活動を始めたそうです。葦^{よし}ぶえ演奏に加えて、「健口体操」や「簡単すわってする体操」などの実技や「健康ひと口」講話もあり、地域の皆様に楽

しんでいただいています。自分の介護予防、健康づくりのためにも、共に楽しんでやっていきたいですと、笑顔で語ってくれました。今後の活動に期待したいと思います。



「大阪府介護保険審査会」の活動報告

平成31年4月に在宅保健師の会の推薦により大阪府介護保険審査会委員になりました。審査会は大阪府内の要介護認定や要支援認定、保険料等の処分に不服があり、審査請求された案件に対して審査します。審査会は被保険者代表、市町村代表、公益を代表する委員として法律、医療、福祉、保健の関係者から構成されています。保健、福祉、医療関係者は3名で合議体を構成し、要介護認定、要支援認定に関する処分の審査請求事件を担当します。私はこれまで総会及び、審査会に1回出席しました。審査にあたっては事前に担当者から個別案件の説明を受け、様々な事情を抱えた府民からの審査請求について正しく処分されたか、審査請求人の主張が認められるべきかを保健師の視点から意見を述べました。

(森長 康子)

※任期は3年で、在宅保健師の会から2名推薦していますが、紙面の都合でお一人に報告いただきました。

新旧役員からのご挨拶

退任役員

退任にあたって

6年間在宅保健師の会の役員として関わり、事務局の皆様、役員の皆様、研修に参加いただいた皆様、原稿依頼でお世話になった会員の皆様、大変お世話になりました。役員会では事務局から最新の国の情報等提供いただき会員の皆様と研修を通して共有してまいりました。コロナ禍になって研修の中止等も相次ぎ、日常にも変化をもたらしました。改めて平和で平凡が有難いものと実感致しました。変動する動きの中ではありますが、在宅保健師の会が新役員のもと、さらに発展していきますように祈願致します。多くの方の支えをいただき務めを終えることができましたことにお礼申し上げます。

上柳 より子

役員会は楽しかったです

4年前「私に役員が務まるだろうか」と不安を抱きながら会議に参加していたことが思い出されます。「国の動き、在宅保健師の役割、ポピュレーションアプローチ、研修の内容、会報に会員の声を一杯載せたいが原稿を書いてくれるかな」など、真剣に議論したことはとても意義深いことでした。このコロナ禍の中、企画した総会や研修が中止になり、会員同士が顔を合わせる機会がグッと減りとても残念です。「久しぶり」と言って話をして交流する時が早く訪れることを願っています。私は今後もできる範囲の中で「保健師活動とは」を考えていきたいと思っています。皆様のご活躍を祈願いたします。

森崎 文子

新任役員

このたび、先輩の後を引き継ぎ、役員をさせていただくこととなりました清水です。入会して6年になります。新型コロナ禍での在宅保健師の会の活動では、今までの会の活動とは異なり新たな課題があるようです。しかし、この時だからこそ、できる活動があると思います。微力ですが、先輩役員の皆様とともに、楽しく在宅保健師の会を盛り上げていければと思っています。応援のほどをよろしくお願いいたします。

清水 一二三

4月から大阪府在宅保健師の会幹事を務めさせていただくことになりました。諸先輩方が築いて来られた会活動の道筋を大切に、次へと継承していく責任を感じています。さて、猛威を振るっている新型コロナウイルスは、私たち人類にとって計り知れない被害をもたらしています。会活動においても困難を極めています。

大阪府国民健康保険団体連合会のご支援をいただき、会長をはじめ役員の皆様、そして会員の皆様と力を合わせてこの苦境を乗り越えていきたいと願っています。微力で至らないことも多々ありますが、ご支援の程、どうかよろしくお願い致します。

川村 律子

令和2年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会の報告

今年度はコロナ禍のため、DVD視聴形式となり、3月1日役員会終了後に視聴しましたので報告いたします。

開会にあたり国保中央会原勝則理事長から、厚労省健康課から協力依頼があった人材バンクへの登録について、全国の在宅保健師等会から500名を超える方々の協力があったことへの謝意がありました。

同会中野常務理事から「保健事業を取り巻く国の動き」として、健康寿命延伸プランの概要について、①健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進、②地域・保険者間の格差の解消に向け、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など「新たな手法」も活用すること、また、I次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等 II疾病予防・重症化予防 III介護予防・フレイル対策、認知症予防 の3分野を中心に取組を推進し、2040年の具体的な目標として、健康寿命を男性75.14歳以上、女性77.79歳以上を目指す旨と説明がありました。

次は厚労省高齢者医療課橋本主査から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の講演でした。高齢者の

医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法を改正し、75歳以上の高齢者に対する保健事業を市町村が介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することができるよう、国、広域連合、市町村の役割等について定めるとともに、市町村等において高齢者の医療・健診・介護情報等を一括して把握できるよう整備等が行われたことについて、イメージ図等を示し具体的な説明がありました。その後、千葉県松戸市、愛知県蒲郡市から取組報告がありました。

厚労省健康課加藤保健指導室長からの「健康危機管理対応」の講演では、DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)の取組経過、活動理念、応援派遣等について説明があり、その後、おかやま在宅保健師の会「ものの会」と鳥取県在宅保健師の会「梨花の会」から事例発表がありました。

今回は、国の重要課題である「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」と「健康危機管理対応」をテーマとした内容でした。これらを推進するために地域で活動する専門職として、在宅保健師等会への期待が大きいのと感じました。(報告者：池畑会長・武部副会長)





令和3年度役員の紹介

令和2年度をもちまして上柳副会長、森崎副会長が退任されました。長きに渡りご尽力いただき、ありがとうございました。

そして、このたび新たに川村幹事、清水幹事に役員にご就任いただき、武部幹事、沢田幹事には副会長として活動していただくこととなりました。



上柳副会長



森崎副会長



川村幹事、武部副会長、池畑会長、沢田副会長、清水幹事

大阪府在宅保健師の会 入会のご案内

保健師としての豊かな知識・経験を生かして地域住民の健康づくりに取り組みませんか？興味のある方は下記事務局までお問い合わせください。

主な活動

- 国保連合会事業への参加
- 時代に合った専門職としての活動に向けた知識や技術習得のための研修会への参加
- 情報交換や会員相互の交流 など

会員の皆様へ

新規入会者の多くが会員のご紹介をきっかけに入会されています。

保健師の資格をお持ちの方が

身近にいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

ホームページのご案内

連合会ホームページ内に
入会案内及び会則等を掲載しています。

令和3年度研修会

とき：令和4年1月18日（火）14時00分～16時00分

場所：大阪市中央区大手前2丁目1番2号 国民會館大阪城ビル
公益社団法人国民會館 12階大ホール

講師：大阪教育大学教育学部教育協働学科

教育心理科学部門 特任教授

新崎 国広（アラサキ クニヒロ）先生

内容：コロナ禍を経験した高齢社会における
地域での関係づくり、仕組みづくり
～在宅保健師に期待すること～

令和4年度総会・記念講演会

とき：令和4年4月22日（金）13時30分（開始予定）

場所：国民會館又は大阪府国保連合会

内容：

総 会

【認定事項】

- 1 令和3年度大阪府在宅保健師の会事業報告について

【議決事項】

- 1 令和4年度大阪府在宅保健師の会事業計画について

記念講演会

テーマ：新型コロナウイルス感染症対策から見てきた
健康づくりの重要性

講 師：北村 明彦（キタムラ アキヒコ）先生

（八尾市保健所健康まちづくり科学センター 総長）

令和4年度保健事業計画（予定）

事業名
特定健診受診勧奨（健康相談）等支援事業
特定健診未受診者対策事業
特定健診受診者のフォローアップ事業
重複服薬者への健康相談事業

発行

【事務局】

大阪府国民健康保険団体連合会

総務部 企画事業課 保健事業係

〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3番8号（中央大通FNビル内）

TEL (06) 6949-5375

FAX (06) 6949-5370

H P <https://www.osakakokuhoren.jp/>